物品受贈益	1,520,290,656	41,658,373	52,125,387	546,564	1,614,620,980	7,223,857	1,621,844,837
知的所有権収益	1,282,100	—	—	236,420,659	237,702,759	—	237,702,759
研究収益	4,630,160,638	45,926,438	424,112,980	66,253,826	5,166,453,882	—	5,166,453,882
受託収益							
国及び地方公共団体	3,556,601,384	972,985,126	136,605,317	95,489,013	4,761,680,840	—	4,761,680,840
その他の団体	8,505,183,433	784,666,356	81,599,022	1,308,355	9,372,757,166	—	9,372,757,166
施設費収益	—	28,080,710	—	—	28,080,710	—	28,080,710
補助金等収益	3,019,168,496	2,421,946	6,634,625	48,118,518	3,076,343,585	—	3,076,343,585
寄附金収益	74,782,899	1,229,225	784,276	684,307	77,480,707	—	77,480,707
財務収益							
受取利息	—	—	—	—	—	—	—
雑益							
建物及び物件貸付料	140,160,009	—	—	—	140,160,009	227,298,730	367,458,739
その他の雑益	592,842	—	—	—	592,842	778,397,739	778,990,581
計	57,831,388,247	6,079,300,915	6,544,202,468	6,112,463,670	76,567,355,300	6,886,086,538	83,453,441,838
Ⅲ．事業損益	△ 178,767,094	233,936,765	△ 681,519,272	△ 119,273,281	△ 745,622,882	△ 278,712,868	△ 1,024,335,750
Ⅳ．総資産							
現金及び預金	—	—	—	—	—	28,042,895,680	28,042,895,680
建物	3,209,235,616	247,333,388	622,357,525	1,466,321,028	5,545,247,557	126,858,517,149	132,403,764,706
機械及び装置	429,937,212	14,745,869	44,099,385	69,888,311	558,670,777	24,764,116,476	25,322,787,253
工具器具備品	27,779,994,630	1,025,943,592	2,901,011,987	4,534,162,216	36,241,112,425	940,036,810	37,181,149,235
土地	—	—	—	—	—	109,034,729,180	109,034,729,180
その他	4,436,311,055	5,377,591,724	201,561,806	2,667,617,189	12,683,081,774	16,235,543,600	28,918,625,374
計	35,855,478,513	6,665,614,573	3,769,030,703	8,737,988,744	55,028,112,533	305,875,838,895	360,903,951,428

⑴　セグメント区分の方法

セグメントを業務に応じて第１号から第４号に区分しております。

⑵　セグメントごとの業務内容

独立行政法人産業技術総合研究所法第11条第１項各号に掲げる下記の各業務

第１号業務：鉱工業の科学技術に関する研究及び開発並びにこれらに関連する業務を行うこと

第２号業務：地質の調査を行うこと

第３号業務：計量の標準を設定すること、計量器の検定、検査、研究及び開発並びにこれらに関連する業務を行うこと並びに計量に関する教習を行うこと

第４号業務：前三号の業務に係る技術指導及び成果の普及を行うこと

なお、第５号業務（産業技術力強化法（平成12年法律第44号）第２条第２項に規定する技術経営力の強化に寄与する人材を養成し、その資質の向上を図り、及びその活用を促進すること）については、上記業務と一体となって実施するものであることから、上記金額に含めております。

⑶　事業費用のうち、法人共通は配賦不能の費用であり、その主なものは管理部門の経費であります。

事業収益のうち、法人共通は配賦不能の収益であり、その主なものは管理部門の収益であります。

⑷　総資産のうち、法人共通は各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは現物出資資産および現預金であります。